

Form 5

平成 22 年 2 月 12 日

## サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 静岡県立磐田南高等学校 ・ 山村 京子

2. 参加研究者: Dr. Jen-Chieh Hsieh

3. 実施日時: 平成 22 年 2 月 10 日 (水) 14 :00 ~ 15 : 10

4. 参加生徒: 2 年生 41 人、 1 年生 1 人、 0 年生 0 人 (合計 42 人)  
備考: 2年理数科生徒

5. 講演題目: (英文) Chemistry and Life  
(和文) 化学と生活

6. 講演概要: ①自己紹介  
②台湾の紹介  
③化学は、食べ物や衣料、日常生活用品など様々な分野に応用されている学問である。化学は分析化学、無機化学、有機化学、物理化学などの幾つかの分野に分けられる。  
タミフルやアスピリンは、人類にとって重要な医薬品であるが、いずれもベンゼン環境を幾つか持つ有機化合物である。TV やパソコンの LED や LCD は、無機化学の結晶の例である。トンネル効果は、トランスポートの一つと言える。地球温暖化も、化学が解決せねばならない重要な課題である。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法

プロジェクター使用による講演

(3) 通訳

無し

協力者 職・氏名

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

専門用語や基本原理などをまとめた英文とその抄訳を、2週間前に配布。

9. 支給経費:  交通費  宿泊費  謝金

10. その他特筆すべき事項: